

合言葉は「チームで支援」

他機関

- しまね国際センター
- 島根大学教育学部(基礎体験活動)
- 島根県立大学(教育支援ボランティア)
- 教育委員会(島根県・出雲市 等)

学校

- ・指導体制の整備
- ・「特別的教育課程」の作成
- ・保護者との連絡相談等
- ・だれにでも分かりやすい授業づくり

該当児童生徒

教育委員会(担当者)

- ・他機関との連携
- ・学校への支援、指導助言
- ・学校と協力等のコーディネート
- ・協議会および研修会等の運営(*年間4回以上)
- ・派遣後関係者対象のアンケート調査の実施(*目標値80%以上の肯定的回答)

○日本語指導員

- ・教科にかかわる指導
- ・指導力や専門性の向上
- ・協力員等の指導状況の視察
- ・協力員等への助言

協力員 等

○日本語指導協力員

- ・専門性を生かした初期指導
- ・指導力や専門性の向上
- ・日本語指導協力員の相互研修
- ・記録や面談によるフィードバック
- ・学校への助言

○日本語指導員支援員

- 大学生(基礎体験活動、支援ボランティア)
- ・きめ細かな個別の支援・サポート

本事業について(経緯と現状)

- H9年度より施行。(松江市立学校に在籍する児童生徒対象)
- 日本語指導が必要な児童生徒数は年度により増減はあるものの、対象児童生徒の使用言語/家庭的な背景/言語以外の特性等、個に応じた対応を行う必要がある。
- 隣市(出雲市)に日本語指導が必要な児童生徒が多数在籍しており、本市にもその傾向が広がることが予想される。
- R3年度までは日本語指導が必要な児童生徒への指導は、市が委嘱する「日本語指導協力員」に委ねる部分が大きかったが、R4年度からは、松江市教育委員会内に日本語指導専任職員「日本語指導員」を新たに配置し、さらに該当児童生徒の母語に通訳ができる「日本語指導支援員」や「大学生(基礎体験活動の一環)」による個別の支援・サポートができる体制を整えた。
- 市教委に「日本語指導員」を2名配置し、松江市としての日本語指導システムを強化しながら、効果を検証していく。
- 日本語指導におけるICTの活用については、指導者用・学習者用の両方のタブレットで活用しながら、効果的・効率的な指導の在り方を検証していく。

就学前

就学

日本語指導協力員による
初期日本語指導

日本語指導員による
日本語と教科の統合学習

日本語指導支援員・大学生(ボランティア活動)による
学習中の支援・サポート

卒業

進学・就職

夢の
実現

日本語の力 + 教科にかかわる力 + きめ細かな個別の支援・サポート → 該当児童生徒の将来の可能性が広がる